

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」 令和5年度（2023年度）授業改善セミナー

道東・保健体育 実施報告



令和5年11月10日（金）、北見緑陵高校を会場に『主体的・対話的で深い学び』の視点を取り入れた授業の在り方について、「保健体育科の授業におけるICT 機器及び学習カードの活用方法について」をテーマに授業改善セミナーを開催しました。道東ブロック（オホーツク、十勝、釧路、根室）の各管内から19名の参加がありました。

本セミナーの実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

実 施 状 況

【実践発表(科目「生涯スポーツ」)】北海道北見緑陵高等学校 肥田 翔真教諭

2・3年次選択科目「生涯スポーツ」について発表がありました。本校の教育目標や今年度の重点目標を教科でも確認するとともに、育成を目指す資質・能力を整理した上で授業を展開していくことが重要であること、本科目は「する・みる・支える・知る」の多様な観点からスポーツに触れる科目であり、運動の「得意・不得意」や「好き・嫌い」のみで選択することがないように、科目選択に当たっては、丁寧に説明を行っていること等の紹介がありました。

また、ICT活用の成果として、生徒の学習意欲の喚起につながっていることや学習内容の定着に効果が見られたことにも触れ、実際の授業の様子を示しながら紹介いただくとともに、ICTの活用は、これまで取り組んできたことの代替としてだけではなく、生徒・教員双方にとっての新たなコミュニケーションスタイルとして活用しながら、これからの指導につなげていきたいと、今後への課題や展望についても述べていただきました。

【画像はいずれも発表スライドより抜粋】→

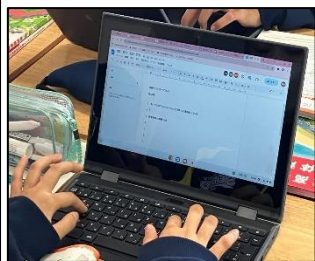


【実践発表(科目「保健」)】北海道幕別清陵高等学校 羽田野 圭介教諭

自校の生徒の状況に合わせた単元の重点化や学習内容に応じて学習スタイルを工夫していく授業実践について、保健の「1単元 現代社会と健康」における取組を発表していただきました。

生徒の実態や地域の実情に応じて、知識を重要とする分野、考え方を重要とする分野を整理し、講義型の一斉授業や個別学習、グループワークといった様々な学習スタイルを組み合わせながら、生徒の主体的な学びの促進や知識の定着につなげる実践例として、生徒による「テスト作成」について紹介がありました。この授業を通じて、教科書を自ら読む

←【テスト作成の様子（発表スライドより）】





【発表スライドより】

生徒が増えたこと、他者との意見交換や互いに教え合う生徒の姿が見られるようになったこと、授業後のアンケートでも多くの生徒が活動性や自主性、集中力の向上につながったと回答していることが紹介されました。

まとめで羽田野教諭からは、授業の実施に当たっては学習指導要領をベースとしながらも生徒の実態や時勢、地域の状況に合わせて内容を精選すること、学習の内容に応じた授業スタイルを選択していくこと、ICTや外部人材を積極的に活用していくこと等が重要であるということが述べられました。

【研究協議】

- ① 「保健体育科の取組状況について」～情報活用能力の育成に向けた取組について～
- ② 「指導と評価の一体化に向けての授業改善について」～ICT機器及び学習カードの効果的な活用について～

実践発表の実施後に、本セミナーのテーマを踏まえ、「保健体育科の取組状況について」及び「指導と評価の一体化に向けての授業改善について」を柱に研究協議を行いました。

研究協議①では、各校におけるICT活用を主とした情報活用能力の育成に向けた取組についてグループに分かれて情報交換を行い、その後の研究協議②では、本日の実践発表や研究協議①での意見を踏まえ、授業改善に向けた具体的な方策について協議を行いました。

各グループからは、「評価のための授業とならないよう、指導と評価の計画の充実を図る」、「生徒自身で学習の振り返りができるようなワークシートや学習カードを作成する」、「学習内容や環境によってICTと紙を使い分けていく」といった、授業を充実させるための様々な意見が聞かれました。



【研究協議の様子】

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- もう一度指導計画から見直して実践してみようとする良い機会となった。
- いきなり全てを変えていくことは難しいと思うが、少しずつでも生徒にとって価値のある学びにつながる授業をしていきたいと思った。
- 他校の先生方との交流を通し、さまざまな悩みや各校での課題を共有することができた。本校の学校教育目標と照らし合わせながら、今後の授業改善に生かしていきたい。
- 各校の先生と話をしていく中で、評価について、なかなかうまくいっていない先生方が多く見受けられたように感じる。評価に関する研修もあれば、ぜひ参加させていただきたい。
- 参加者名簿を拝見すると郡部校からの参加が目立ち、都市部からの参加者が少ないように感じる。校種や規模の違いによる取組を確認することでより一層の深まりが見込めると感じた。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 「探究的な学び」、「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・大いに深まった 50%
 - ・深まった 44.4%
- 2 今回のセミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか。
 - ・大いに役立つ 61.1%
 - ・役立つ 38.9%